

スモモ×モモ種間雑種の繁殖性と接ぎ木親和性

福島県農業総合センター 果樹研究所 栽培科

1 部門名

果樹一モモ一品種

2 担当者名

佐久間宣昭、高橋堯之

3 要旨

モモは一般にモモの実生を台木として利用するが、湿害に弱いことが欠点である。そこで、比較的耐水性が強いとされるスモモを交雑親として育成した種間雑種個体について、繁殖性と接ぎ木親和性を調査した結果、挿し木繁殖が容易で、モモとの接ぎ木親和性が高いことを確認した。

- (1) スモモ×モモ種間雑種「2-2」(以下「種間雑種『2-2』』という。)は、スモモ「メスレー」とモモ台木「筑波9号」の交雑実生個体である。
- (2) 種間雑種「2-2」の休眠枝挿しによる発根率は100%であり、根量も多い(図1)。
- (3) 2023年9月の芽接ぎ、2024年3月の切り接ぎの結果、種間雑種「2-2」とモモ品種の活着率は100%であり、接ぎ木親和性は高い。
- (4) 休眠枝による接ぎ木挿し(接ぎ木と挿し木を同時に行う)が可能であり、実生繁殖では通常2年を要するモモ苗木の育成を1年に短縮することができる。



接ぎ木挿し2週間後



接ぎ木挿し2か月後の発根状況

図1 種間雑種「2-2」の繁殖状況

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3～7年度
- (2) 研究課題名 個性豊かな県オリジナル果樹品種の育成

5 主な参考文献・資料

- (1) 河瀬憲次編著, 果樹台木の特性と利用, 農文協, 第6章モモ, p.339-372, 1995.